

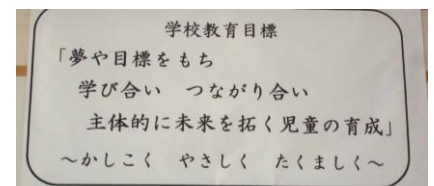


四万十市立中村小学校の紹介

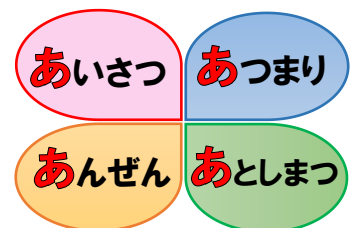
R5.4.10



明治5年学制の発布と共に開校した本校は、昨年度創立150周年を迎えました（左写真は創立100年記念碑）。四万十市（旧中村市）・幡多地区の中心校として、常に国・県等の教育課程・学力向上研究校としての教育研究を積み重ね、優れた授業や教育活動を展開して、数多くの人材を輩出してきました。「学習指導要領を具現化・実現する学校」を経営理念に、現在は、高知県教育委員会「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト実践研究協働校事業（令和 3・4・5 年度）を受け、中村中学校と連携しながら、9年間の学びをつなぐ資質・能力を育む授業づくりの実現に向けた研究実践に取り組んでいます。



「夢や目標をもち 学び合い つながり合い 主体的に未来を拓く児童の育成~かしこく やさしく たくましく~」を学校教育目標に、知育・徳育・体育のバランスの取れた教育活動を具現化することにより、変化の激しい21世紀を生き抜き、21世紀の社会を主体的に創造できる子どもの育成を目指しています。



学校生活においては、「あいさつ・あんぜん・あつまり・あとしまつ」の4つの「あ」の取り組みを大切に、児童と教職員が心を合わせ一体となって、“明るい学校・美しい学校・温かい学校”を目指しています。



児童会役員がリーダーとなって「みんな仲良く 笑顔いっぱいの中村小学校」をスローガンに、児童会・委員会活動や児童朝会、学校行事やファミリー班活動（掃除・エンカウンター・レクリエーション等）によって、いじめのない明るく元気な学校、笑顔あふれる仲良く温かい学校を目指して取り組んでいます。